

DNL

3Pコンセント

3PFC

(250V・15A)

(φ1.6またはφ2.0 銅単線専用)
(数量1個)

取扱説明書

保存用

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には、電気工事士の資格が必要です。
必ず電気工事店へご依頼ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

DNライティング株式会社

営業本部/
東京都品川区西五反田1-13-5
Tel.03-3492-4460

15年01月11

安全上の注意

警告

- 取付工事や清掃、温度ヒューズ交換のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから、工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 必要な作業以外の分解、改造は絶対にしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
- コンセントの受け刃（充電部）には触れないでください。感電の原因となります。
- コンセント、コネクタの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 傷んだり変形したコンセント、コネクタは使用しないでください。感電、火災の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなってください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと感電、火災の原因となります。
- 定格電流以下の負荷で使用してください。感電、火災の原因となります。
- コネクタは電線に余裕をもたせ、コンセントへ確実に差し込んでください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となります。
- アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと、感電の原因となります。

注意

- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど）で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気の上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- コネクタを抜くときはコードを引っ張っておこなわないでください。感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、コンセント、コネクタに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 強い衝撃を与えないでください。感電、火災の原因となることがあります。
- 塗料などを塗らないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- アース線の接続箇所を間違えないよう注意してください。感電、火災の原因となることがあります。
- 周囲温度は5℃～40℃の範囲で使用してください。温度ヒューズが不要動作したり、故障、感電、火災の原因となることがあります。

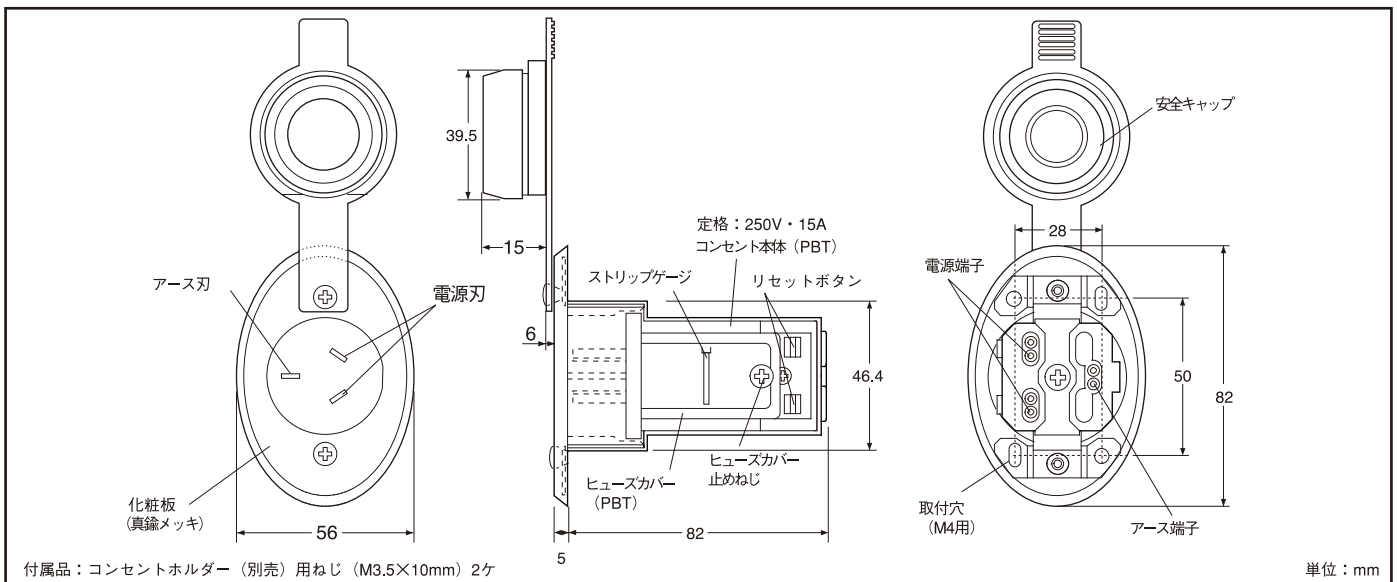
ご使用上の注意

- 什器専用です。什器以外の電源には使用しないでください。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 接続する電線は取扱説明書にしたがって使用してください。
- 温度ヒューズの交換は別売の「セフコンヒューズ」を使用し、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。火災の原因となることがあります。また、ヒューズ付コネクタのヒューズ交換はできません。

保守・点検

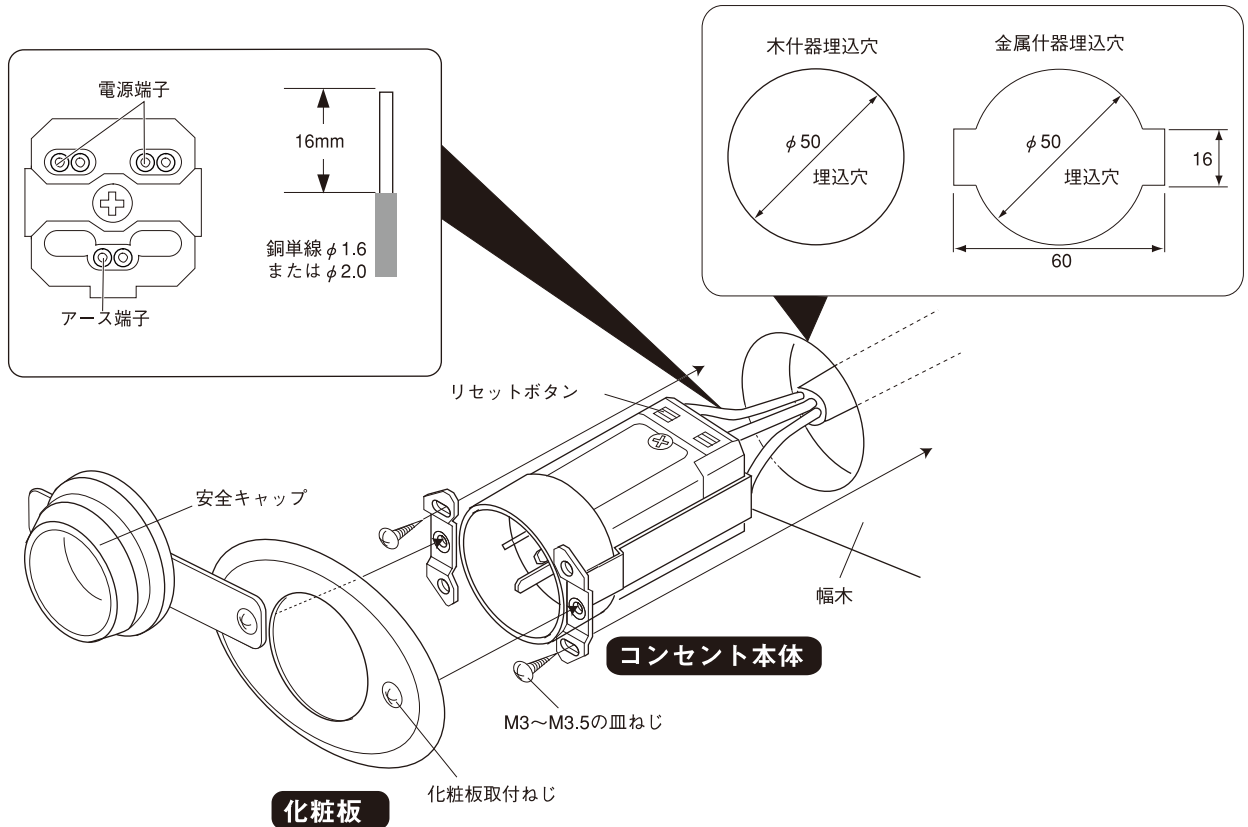
- 配線器具には寿命があります。
- 設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度40℃
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。（弊社のホームページに掲載）
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

各部の名称と外形寸法



取付方法

- ① コンセント取付位置にφ40mmの埋込穴を開けてください。
- ② 埋込穴を通した電線（銅単線φ1.6またはφ2.0）の先端を、ストリップゲージに合わせて16mmストリップし、心線が止まるまでコンセントの端子へ差し込んでください。
 - ・アース線は、間違いのないようアース端子へ接続してください。
 - ・接続後は電線1本づつを引っ張って、確実に接続されていることを確認してください。※電線を外す場合は、マイナスドライバーでリセットボタンを押しながら電線を引き抜いてください。
※電線を差した隣の端子は、送り配線用です。容量は15Aです。



- ③ コンセント本体を埋込穴に納め、M3~M3.5の皿ねじで幅木に確実に固定してください。
- ④ 化粧板を化粧板取付ねじで装着してください。

【ヒューズ交換方法】 ※交換するヒューズは当社別売品(セフコンヒューズ)を必ず使用してください。

- ① ヒューズが切れた原因を調べ改善してください。
- ② 化粧板取付ねじを緩めて、化粧板を取り外してください。
- ③ M3~M3.5の皿ねじを緩めて、コンセントを幅木から引き出ししてください。
- ④ ヒューズカバー止めねじを緩めて、ヒューズカバーを取り外してください。
- ⑤ 各ヒューズの導通を確認し、切れたヒューズのヒューズ止めねじを緩めて取り外してください。
- ⑥ 新しいヒューズを、ヒューズの黒色部側がコンセントの刃がある側にしてヒューズ止めねじで取り付けてください。
- ⑦ ヒューズカバーをヒューズカバー止めねじで装着してください。

